

第1次総合戦略の結果について

那須塩原市の人口の現状①

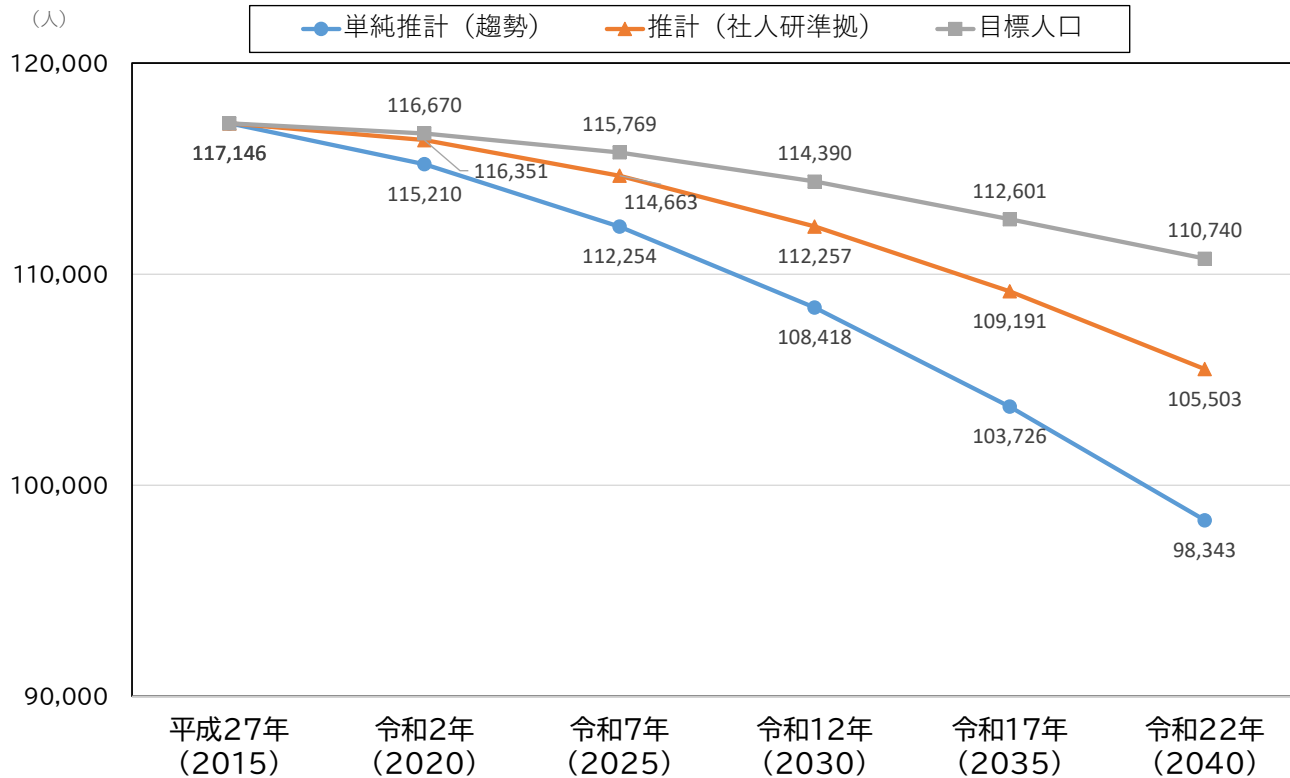
✓ 令和2(2020)年国勢調査を用いた単純な人口推計では、現計画の推計人口・目標人口の見通しを大きく下回り、令和22(2040)年に人口10万人を下回ります。

(1) 単純推計と前回推計の比較

	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)
単純推計 (趨勢)	117,146	115,210	112,254	108,418	103,726	98,343
推計 (社人研準拠)*	117,146	116,351	114,663	112,257	109,191	105,503
目標人口*	117,146	116,670	115,769	114,390	112,601	110,740

*現行の計画の推計人口

※ 単純推計の令和2(2020)年までは国勢調査結果



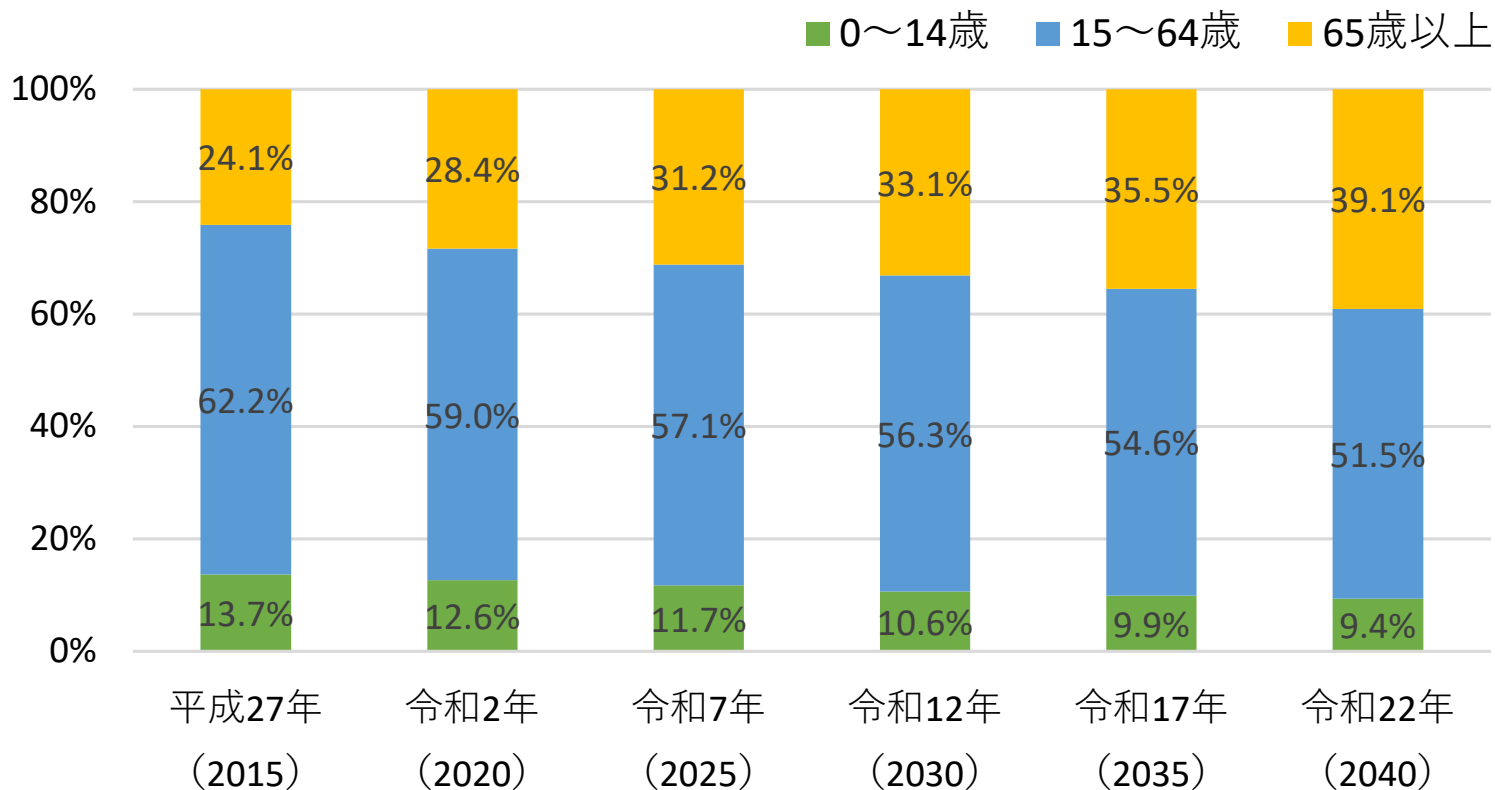
仮定内容	内容
移動率	2015→2020の人口変化と生残率から算定し、一定
出生率	2015→2020の出生率で一定 (実際は2020年の子ども女性比率で算定)
生残率	社人研の仮定値に基づく

那須塩原市の人口の現状②

- ✓ 年齢別にみると、令和2(2020)年に生産年齢人口(15～64歳)割合が60%を下回り、以後少子高齢化が進んでいくと予測されます。

※ 令和7(2025)年以降は、令和2(2020)年国勢調査結果を用いた単純推計(趨勢)により算出

年齢別人口割合の推移と将来推計



第1次総合戦略 目標達成度

- ✓ 短期的目標について、令和元年から転入超過*1に転じ、その後も転入超過を維持しています。
- ✓ 一方で、中期的目標(令和6年度まで)については、現時点で目標人口を下回るなど達成は難しい状況です。

● 短期的目標：総合戦略期間内（平成27年度～令和4年度）

目標	参考値	実績値	達成度
市への転入者数が転出者数を上回ること。	317人の転出超過*1 (H26)	411人の転入超過*1 (R3) ※R4も転入超過を継続する見込	◎

● 中期的目標：10年後を見据えて（～令和6年度）

目標	参考値	実績値	進捗度
目標人口115,800人を維持すること。	117,146人*2 (H27)	115,210人*2 (R2)	↓
生産年齢人口比率60%を維持すること。	62%*2 (H27)	59%*2 (R2)	↓
那須塩原市に愛着を感じている人の割合が80%以上であること。	75.8%*3 (H27)	76.1%*3 (R1)	→

第1次総合戦略 基本目標における数値目標の達成度

- ✓ 基本目標1・・・子育て環境に関する市民満足度が改善したものの、合計特殊出生率が低下しています。
 - ✓ 基本目標2・・・実績値では、基準値を下回っています。
 - ✓ 基本目標3・・・計画期間内に転入超過に転じ、目標を達成する見込みです。(短期的目標再掲)
 - ✓ 基本目標4・・・H27調査では51点と低下し、R1の調査で改善しましたが、基準値を下回っています。
- ➡ 基本目標3は目標を達成する見込みですが、それ以外の基本目標は未達成です。

達成度 ◎:達成、↗未達成(基準値より向上)、→未達成(基準値より向上)、↘未達成(基準値より低下)

基本目標	目標指標	基準値	目標値	実績値	達成度
① 未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために	子育て環境の充実に対する市民満足度	48点*1 (H22)	60点以上	50点*1 (R1)	↗
	合計特殊出生率	1.47*2 (H25)	1.62	1.30*2 (R2)	↘
② 未来を創る地域産業の活性化のために	就業者数	59,140人*3 (H22)	60,000人	57,158人*3 (R2)	↘
③ 未来に集う人々の活発な交流のために	【再掲：短期的目標】 人口の社会増減数（市への転入者数が転出者数を上回ること）	—	市への転入者数が転出者数を上回ること	411人の転入超過*4 (R3)	◎
④ 未来を守る災害対応力の強化のために	災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度	59点*1 (H22)	65点以上	56点*1 (R1)	↘

重点施策「7つのK」におけるKPIの達成状況

- ✓ KPIについては、26指標中19指標において達成 **73%**
 - ✓ KPI未達成であった指標のうち、5指標は計画期間内において上昇 **19%**
 - ✓ 未達成であった指標のうち、2指標は計画期間内において低下(※)
- } 9割のKPIにおいて
目標達成又は数値が上昇

重点施策 (7つのK)	関連する 基本目標	KPI数	計画期間内におけるKPI実績			
			目標達成済	(未達成) 上昇	(未達成) 横ばい	(未達成) 低下
			◎	↗	→	↘
1 雇用 (Koyou)	②	2	1	1	0	0
2 結婚 (Kekkon)	①	2	1	1	0	0
3 子育て (Kosodate)	①	4	3	0	0	1
4 教育 (Kyouiku)	①	5	5	0	0	0
5 暮らし・環境 (Kurashi・Kankyō)	②, ③, ④	6	4	2	0	0
6 交流 (Kouryu)	②, ③, ④	4	2	1	0	1
7 広報 (Kouhou)	③	3	3	0	0	0
計	—	26	19	5	0	2

【未達成のうち、計画期間内において低下した指標の分析】

- 「3 子育て-ファミリーサポートセンター会員数」は、待機児童ゼロの達成や放課後児童クラブの充実等により「子供の預かり」の利用者数が減少。一方で、「子供の送迎」が利用されており、子育て支援における一定のニーズに対応している。
- 「6 交流-観光客入込数・観光客宿泊者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で観光者数が減少。一方で、令和3年から2年連続で「世界の持続可能な観光TOP100選」に選出されるなど、持続的かつ競争力のある観光地域づくりを目指して取組を進めている。

第1次総合戦略 KPI一覧①

重点施策 (7つのK)	KPI	目標値	当初値 (H27)	実績 (R3)	実績 (R4見込)	達成率*
1 雇用 (Koyou)	新規就農者支援件数	105件 (H27～R4)	15件	120件	145件	◎
	新規創業者数	170件 (H27～R4)	13件	106件	129件	↗
2 結婚 (Kekkon)	出会い創出事業の実施数	5事業 (H27～R4)	—	5事業	5事業	◎
	結婚支援事業補助金の補助事業者数	3事業者 (H27～R4)	—	2事業者	2事業者	↗
3 子育て (Kosodate)	待機児童数	0人	19人	0人	0人	◎
	ファミリーサポートセンター会員数	800人	331人	315人	290人	↘
	0～2歳児を持つ親の子育て環境・支援に関数満足度	70%以上	—	82.7%	90%	◎
	新生児乳幼児家庭訪問事業「子育てを楽しくないと思う親の割合」	6%以下	6.5%	4.7%	3.0%	◎
4 教育 (Kyouiku)	小中一貫教育を推進する学校数	市内全校 (10中学校区)	市内全校 (10中学校区)	市内全校 (10中学校区)	市内全校 (10中学校区)	◎
	外国語指導助手(ALT)の全校配置	継続	全校配置	継続	継続	◎
	不登校出現率	小・中・義務教育学校ともに県の出現率以下	小:県以下 中:県以上	小:県以下 中:県以下	小:県以下 中:県以下	◎
	地域学校協働本部設置数	10	0	10	10	◎

* 計画期間内に 達成◎、(未達成)計画期間内に上昇↗、(未達成)計画期間内に横ばい→、(未達成)計画期間内に低下↘

第1次総合戦略 KPI一覧②

重点施策 (7つのK)	KPI	目標値	当初値 (H27)	実績 (R3)	実績 (R4見込)	達成率*
5 暮らし・環境 (Kurashi・Kankyou)	新幹線定期券購入補助件数	210件 (H27～R4)	12件	144件	169件	↗
	移住支援助成金の利用者数	10件 (R1～R4)	—	17件	48件	◎
	公共交通(ゆーバス、ゆータク (予約ワゴンバス))利用者数	931,000人 (H27～R4)	148,248人	1,039,779人	1,174,779人	◎
	用途地域内人口割合	48%	45% (R1)	46%	48%	◎
	市域から排出される温室効果 ガスの量	936千 _{t-CO2}	1,087千 _{t-CO2} (H25)	908千 _{t-CO2} (R1速報)	908千 _{t-CO2} (R2推計)	◎
	自主防災組織のカバー率	95%	72.69%	81.63%	83.18%	↗
6 交流(Kouryu)	観光客入込数 観光客宿泊者数	1,040万人 110万人	9,989,935人 958,220人	6,772,087人 463,406人	7,777,323人 826,995人	↘
	地域おこし協力隊隊員数	6名 (年間延べ人数)	2名	5名	3名	↗
	那須地域定住自立圏共生ビ ジョンの連携事業数	16事業	4事業	16事業	16事業	◎
	黒磯駅周辺地区再生整備計 画の推進	整備完了	整備中 (13.6%)	整備完了 (R1)	整備完了 (R1)	◎
7 広報(Kouhou)	なすしおばらファンクラブの会員 数	1,200人	—	1,197人	1,250人	◎
	みるメールの登録者数	14,800人	6,696人	18,813人	19,400人	◎
	市移住促進センターへの相談 件数(年間)	200件	—	455件	560件	◎

* 計画期間内に 達成◎、(未達成)計画期間内に上昇↗、(未達成)計画期間内に横ばい→、(未達成)計画期間内に低下↘

第1次総合戦略のまとめ

- ✓ 令和2(2020)年の国勢調査結果によると、人口ビジョンで設定した推計人口及び目標人口よりも人口減少のペースが早まっています。
- ✓ 一方で、総合戦略期間内の目標である「市への転入者数が転出者を上回ること」を達成するなど、取組に一定の成果がありました。今後も引き続き市への転入者数が転出者を上回る「転入超過」を維持していくことが重要です。
- ✓ また、新型コロナウイルス感染症の流行を契機として、私たちの日常が大きく変化しました。こうした変化に適応し、安心して住み続けられる地域づくりを進めていく必要があります。



第1次の課題や成果を踏まえ、次期総合戦略を策定

次期戦略策定の視点

- ◆ 人口減少への対応 → 少子化対策(合計特殊出生率の改善)
転入超過の維持(若者の転出抑制)
- ◆ 地方創生の推進 → 喫緊の課題への対応
本市の強みを活かしたまちづくり